

③ 台風後調査(平成 16 年 9 月 11～14 日実施)

広域分布調査で確認された出現種及び確認された状況は表 1-4-3のとおり。

また、広域分布の観察結果を図 1-4-5および図 1-4-6に示す。

表 1-4-3 台風後調査・広域分布調査 主要確認種の概要

(調査日:平成16年9月13、14日)

種名	河口干潟	住吉干潟
シオマネキ	・ヨシ原内で局所的に確認 ・密度は小さい	・ヨシ原内やヨシ原周辺の泥場で広範囲に確認
ハクセンシオマネキ	・干潟中央のヨシ原縁部の砂泥域で確認	・ヨシ原縁部やヨシ原内の砂泥域で局所的に確認
チゴガニ	・滞筋付近やヨシ原縁部で局所的に確認	・ヨシ原縁部の泥場で確認
コメツキガニ	・干潟上の砂泥域で広範囲に確認	・河口寄りの砂泥域及び中州の河口側の砂泥域などで確認
スナガニ	(確認できず)	・中州で1個体確認
ヤマトオサガニ	・干潟中央の砂泥域とヨシ原縁部で採取	・ヨシ原縁部～干潟水際の泥場で広範囲に確認
アシハラガニ属	・ヨシ原内やヨシ原周辺で広範囲に確認	・ヨシ原内やヨシ原周辺で広範囲に確認
ヘナタリガイ	・干潟中央部の砂泥域で広範囲に確認	・下流側の護岸寄りで局所的に確認
フトヘナタリガイ	・ヨシ原内やヨシ原周辺で広範囲に確認	・ヨシ原縁部やヨシ原内の砂泥域で局所的に確認
ヒロクチカノコ	・ヨシ原内で比較的広範囲に確認	・河口側のヨシ原内で比較的広範囲に確認
本年度夏季と比較して確認地点・範囲が著しく変化した種	1.シオマネキ: 確認地点が少し変化 2.ハクセンシオマネキ: 確認地点が少なくなる 3.スナガニ: 今回は確認できない 4.ヤマトオサガニ: 今回確認できたが確認個体数は少ない	1.シオマネキ: 中州で確認地点が変化 2.ハクセンシオマネキ: 確認地点が一部変化 2.チゴガニ: 確認範囲が小さくなる(泥場で比較的広範囲→ヨシ原縁部で確認) 3.スナガニ: 確認地点が変化 4.ヘナタリガイ: 確認地点が変化 5.フトヘナタリガイ: 確認地点が変化

注:アシハラガニ属は、目視確認した分布範囲の中にアシハラガニとヒメアシハラガニが混在しているが、現地観察での分類は困難なため、アシハラガニ属と表記した。

調査日 : 平成16年9月13、14日
 観察者 : 三洋テクノマリン株式会社
 小泉 善之、谷本 都、他4名
 観察方法 : 地上で行動している産生動物を、双眼鏡を使用した
 目視観察を主体として確認

<基図 (レーザー測量による地形図) 撮影日: 平成16年10月14日>

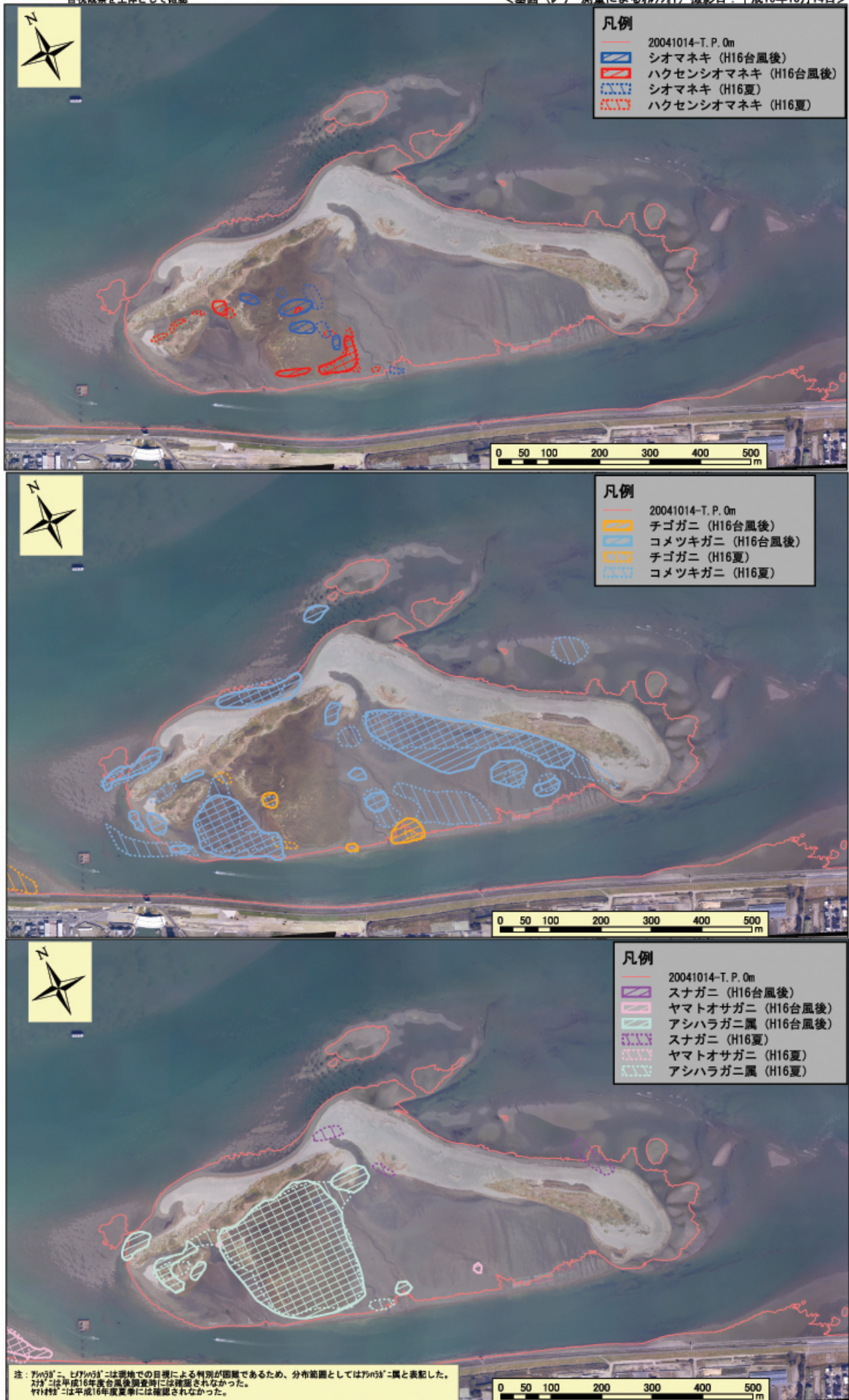


図 1-4-5(1) 台風後調査: 広域分布調査(河口干潟-1)

調査日 : 平成16年9月13、14日
 観察者 : 三洋テクノマリン株式会社
 小泉 善之、谷本 都、他 4名
 観察方法 : 地上で行動している底生動物を、双眼鏡を使用した
 目視観察を主体として撮影

<基図 (レーザー測量によるLiDAR) 撮影日: 平成16年10月14日>

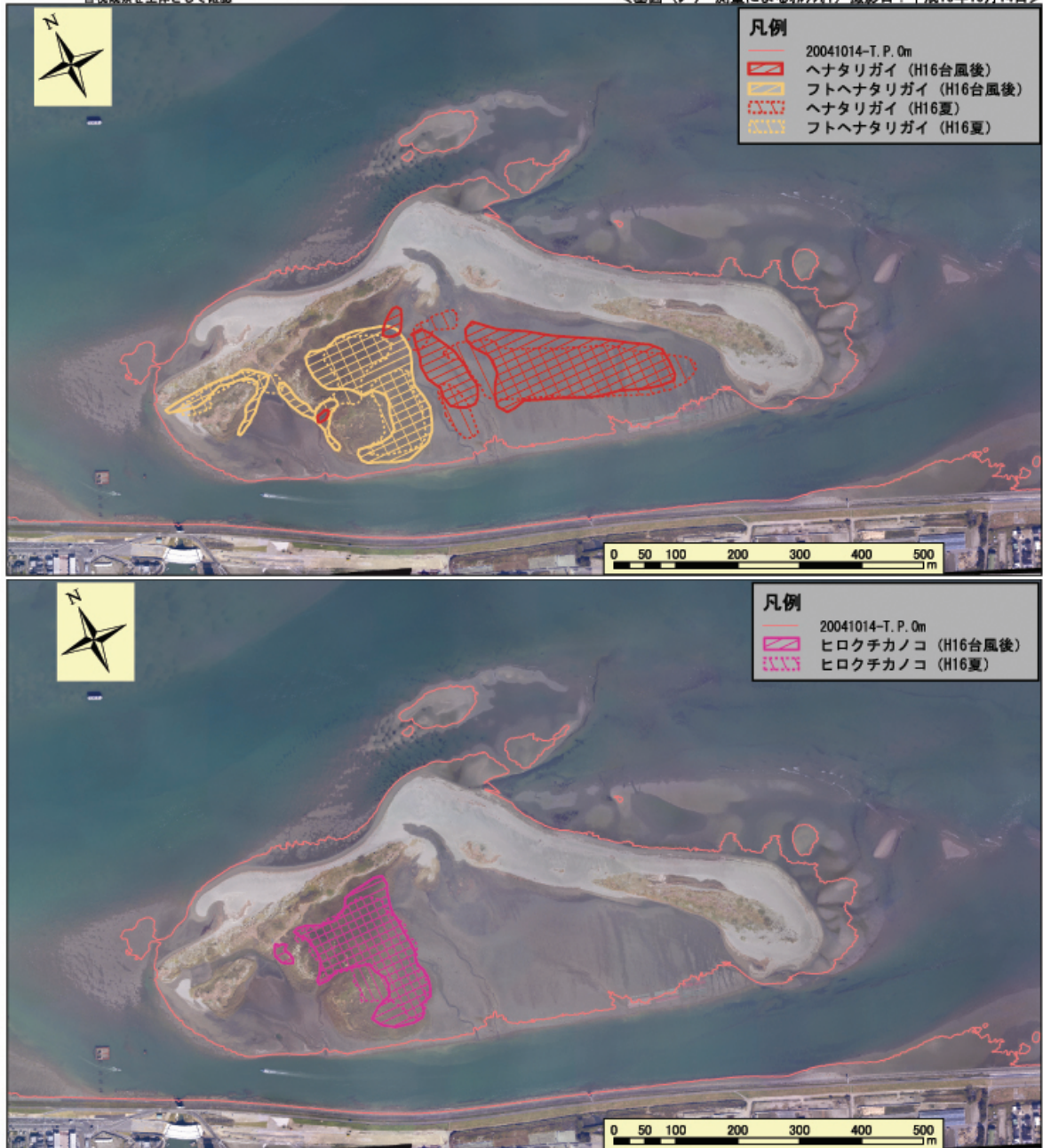


図 1-4-5(2) 台風後調査: 広域分布調査(河口干潟-2)